



平成 20 年 8 月 6 日

各 位

会社名 和 弘 食 品 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 和 山 明 弘  
( JASDAQ ・ コード 2813 )

問合せ先

役職・氏名 取締役管理本部長 市川敏裕  
電 話 0134 - 62 - 0505

## 平成 20 年 12 月期中間期及び通期(非連結)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 12 月期(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)の業績予想について、平成 20 年 2 月 14 日付当社「平成 19 年 12 月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 1. 平成 20 年 12 月期業績予想の修正

(1)中間期 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経 常 利 益	中間純利益
前回予想(A)	2,551	51	53	22
今回修正(B)	2,513	1	2	29
増減額(B-A)	38	50	55	51
増減率	1.4%	98.0%		
(ご参考) 前期実績(1/1～6/30)	2,438	25	22	6

(2)通期 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経 常 利 益	当期純利益
前回予想(A)	5,550	224	223	128
今回修正(B)	5,550	155	150	59
増減額(B-A)	0	69	73	69
増減率	0.0%	30.8%	32.7%	53.9%
(ご参考) 前期実績(1/1～12/31)	5,419	206	203	119

## 2. 業績予想修正の理由

### (1)中間期（平成20年1月1日～平成20年6月30日）

売上高につきましては、業務用スーパの販売が伸びたことにより74百万円(前年同期比3.0%増)増加したものの、2,513百万円と予想比38百万円の減少となる見込みであります。

一方利益につきましては、売上総利益率を21.5%と予定しておりましたが、コスト削減のための生産性向上に努めたものの、原油価格の高騰や新興国経済の急速な発展に伴い、油脂、醤油、ゴマなどの原材料、包装資材、重油等が大幅に値上がりし20.3%と1.2%減少する見込みであり、また、顧客の倒産による処理を販売費及び一般管理費に13百万円計上するなどの影響を受け、営業利益は前回予想から50百万円減少して1百万円、経常利益は前回予想から55百万円減少して2百万円、中間純利益は前回予想から51百万円減少して29百万円となる見込みであります。

### (2)通期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

売上高につきましては、引き続き業務用スーパの販売が好調であることが予想されることから前回予想5,550百万円を見込んでおります。

利益面につきましては、中間期に引き続きコスト削減のための生産性向上に努めるものの、更なる原材料、包装資材、重油等の大幅な値上がりが見込まれ、生産コストが上昇する見通しであります。その結果、営業利益は前回予想から69百万円減少して155百万円、経常利益は前回予想から73百万円減少して150百万円、当期純利益は前回予想から69百万円減少して59百万円となる見込みであります。

上記に記載した業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上